

魅力ある高校生にインタビュー

明日へ ジャンプ

No.210

積み重ねてきた努力 『書の甲子園』3年連続の入選へ

伊勢崎清明高校 3年 ^{かわ}瀬 ^も花 さん



伊勢崎清明高校書道部で部長を務める河瀬さんは、小学1年生で習字を始めました。「習字教室に通っていた姉の影響で習字を始めました。中学生では一度習字から離れましたが、清明高校書道部で部長を務め、その後も書道を続ける姉の姿を見て、私も書道部に入ることを決めました」姉の背中を追って書道部への入部を決めた河瀬さんですが、入部当初は、習字を長く続けていたことで染み付いた癖の矯正に苦労したと言います。「習字教室ではきれいな字を書くことを習いましたが、書道では魅力的な字を書く必要があります。きれいな字を書く癖をなくすため、一定の太さで文字を書く篆書体の練習に取り組みました」



プロフィール

かわせ・もか
書道パフォーマンスにも力を入れており、個人の作品・パフォーマンス共に全国の舞台を目指している。お菓子作りが趣味で、作ったお菓子を部員に振る舞うことも。卒業後は大学へ進学し、将来は教員になりたいと語る。

「習字と書道の違いに苦労しながらも練習を重ね、1年生での群馬県教育書道展の入賞を皮切りに、数々の実績を残してきた河瀬さん。中でも、全国高等学校総合文化祭第50回記念展への選出には特別な思いがあったそうです。」
「全国総合文化祭には、群馬県総合文化祭の上位4人が選出されるため、その4人に選ばれるよう夜遅くまで練習しました。しかし、結果は4人には選ばれず、全国総合文化祭の50回目の開催を記念して行われる50回記念展への選出となりました。目標に届かず悔しさもありましたが、努力が報われてうれしかったです」
努力を重ね、見事全国総合文化祭第50回記念展への選出をつかみ取った河瀬さん。最後に今後の目標を聞きました。「今年の夏に行われる『書の甲子園』が高校生活最後の書道展となります。これまで2年連続で秀作賞として入賞しているのですが、まずは3年連続で入賞したいです。さらに、姉が残した優秀賞という成績を超えたいと思っています」